

資料提供

提供年月日	令和8年1月26日（月）
担当部課名	未来創造部未来こども若者局
担当部署名	未来こども若者課
担当者名	尾崎、小川
連絡先	65-6371（内線：4562）

長浜市シティプロモーションサイト「なかなか長浜」をオープン

長浜市は、令和8年1月29日に、シティプロモーションサイト「なかなか長浜」を公開いたします。
当サイトでは、市内での仕事や住まい、子育てに関する移住検討者や若者が求める有益な情報を集約し、本市での暮らしに役立つ支援制度とあわせて、総合的に情報を発信してまいります。

記

サイト名：長浜市公式 移住・暮らし応援サイト「なかなか長浜」

URL：<https://nakanaka-nagahama.lg.jp>

公開日：令和8年1月29日（木）9:00

デザイン：スマートフォンでも快適に閲覧できるデザインで、移住者や地元若者へのインタビュー記事や豊富な写真、動画を活用するとともに、本市出身のイラストレーター中尾仁士（なかおひとし）さんが描いたイラストを取り入れ、若者が親しみやすく、長浜での暮らしの魅力を分かりやすく伝えるデザインを採用しています。

情報を探しやすい6つのコンテンツ：

- ① 子育て：妊娠出産から子育て期まで、切れ目のない充実した支援制度を紹介
- ② お仕事・住まい：就職支援情報や空き家バンク、住宅取得に関する補助制度紹介
- ③ 支援制度：多岐にわたる支援メニューを分かりやすく紹介
- ④ まちの魅力：長浜ならではの豊かな暮らしの魅力を発信
- ⑤ 移住ストーリー：移住者や市内在住の若者へのインタビュー記事を紹介
- ⑥ 長浜を応援：ふるさと納税や「東京-長浜リレーションズ」など、市との関わりを提案



トップページ



子育てコンテンツ



お仕事コンテンツ

移住者や本市在住の若者へのインタビュー記事「記事一覧」

市内で働く若者や新居を構えた子育て世帯、子育て支援施設、市民に愛されている店舗の方々、さらにはふるさと納税返礼品の生産・加工に携わる方など、総勢18名の市民の皆様にご協力いただきました。本市での暮らしの魅力を生の声で伝えるインタビュー記事を計13本掲載しています。

また、各記事の末尾には「子育て」「お仕事」「住まい」といった関連コンテンツへのナビゲーションを配置し、利用者がスムーズに知りたい情報へたどり着けるよう、サイト内の回遊性を高める工夫を施しています。

プロモーション動画・動画制作プロジェクト

こども若者の視点で本市の魅力を再発見し、大人や企業と協働して映像を作り上げる「長浜市シティプロモーション・PV制作プロジェクト」の中から選ばれた最優秀動画2本を掲載しています。

本プロジェクトは、キヤノンマーケティングジャパン株式会社及び株式会社CURIO SCHOOLと連携して実施いたしました。計10回にわたる動画制作講座やワークショップを経て、参加者がそれぞれの感性で動画を制作しました。

動画タイトル	動画概要
長浜が育んだ「夢」	上田幸之助さんが捕まえたたくさんの生き物をスライドショーで紹介し、長浜に棲む生き物と向き合う楽しさや魅力を伝える動画。
長浜市観光＆紹介 RTA	長浜駅から大通寺までの観光スポットを歩きながら紹介。長浜駅から大通寺まで歩いて何分かかかるか RTA（リアルタイムアタック）形式による動画。



ロゴマークの紹介



長浜市公式 移住・暮らし応援サイト



【イラスト】

竹生島やオオワシ、市の花の梅、びわ湖のさざ波など、長浜にゆかりのあるものを、暮らしの中心となる家のまわりに彩り、親しみやすいイラストで表現しました。

【サイトのタイトル】

若者の移住だけでなく、長浜で現在も暮らしている若者にとっても有益な情報をお知らせするため、「移住・暮らし応援」としています。

また「なかなか」は、「創造以上に（＝なかなか）」素敵な暮らしができるという意味を込めました。「長浜」と韻を踏んだ心地よい響きで、多くの人に口にしてもらいたいという願いを込めています。

さらに、長浜の「浜」は、市が誇る曳山まつりの山車をイメージして表現しています。